

C. hattorii KÔNO et INOUE ハツトリオホアブラ

Todolachnus abietis MATSUMURA トドミドリオホアブラ

等の蚜蟲の集團に集り、これを保護する。

北海道中央山脈以西の地に多い。

6. *Camponotus (Camponotus) herculeanus herculeanus*

LINNAEUS キクヒオホアリ (新稱)

生活は大体ムネアカオホアリと一致してゐる。樺太及び北海道の東北部に分布する。

伐木地帯に特に多い。

7. *Lasius (Lasius) niger (LINNAEUS) トビイロケアリ*

林内にも、林縁にも生活する。倒木、伐木、立木等の材部に造巢して有害である。又、

Cinara jezoana INOUE エゾマツアブラ

C. nopporensis INOUE エゾアメイオアブラ

Todolachnus abietis MATSUMURA トドミドリオホアブラ

その他の蚜蟲類を保護する。

特にエゾマツの幼木、小徑木等の樹幹に沿ふて土を以て隧道を造り、エゾマツアブラを保護する。そしてその根際に造巢し、根の活動を阻げ、幼木は往々その爲に枯死するに到る。

樺太、北海道共に普通である。

8. *Lasius (Lasius) flavus (FABRICIUS) エゾキイロケアリ*

地中生活を営み、林内の幼木や小徑木の根際に造巢する。地上にはあまり現はれない。

トドマツの根では *Prociphilus oriens* MORDWILKO トドノネオホワタムシを、エゾマツ・アカエゾマツの根では *Prociphilus kônoi* HORI コオノオホワタムシを保護し、その繁殖を援けるので有害である。

北海道の森林地帯に普通である。

9. *Lasius (Dendrolasius) fuliginosus (LATREILLE)*

クロクサアリ

林内の倒木や腐木に造巢する。

Cinara longipennis (MATSUMURA) ハネナガオホアブラ

Todolachnus abietis MATSUMURA トドミドリオホアブラ